



[CLUB OFFICE] 京都 Y M C A 〒604-8083 京都市中京区三条柳馬場角 ☎ (075) 231-4388

Bulletin
2015. 4. 1 発行
第34巻 第10号
通巻381号



今月の聖句

『不平を言わずにもてなし合いなさい。あなたがたはそれぞれ、賜物を授かっているのですから、神のさまざまな恵みの善い管理者として、その賜物を生かして互いに仕えなさい。』
ペトロの手紙 4章9～10節

会 長 / 菅 原 縦 一
副会長 / 石 倉 尚
山 田 隆
書 記 / 八 木 悠
森 繁
会 計 / 内 田 樹
山 口 彦
口 彦 患

クラブ主題

『伝統から、未来を紡ぐ』

- 国際主題: IP Isaac Palathinkal (インド) “Talk Less, Do More” 「言葉より行動を」
アジア主題: AP 岡野泰和 (大阪土佐堀) “Start Future Now” 「未来を始めよう、今すぐに」
西日本区主題: RD 松本武彦 (大阪西) “To walk together, echoing each other” 「響き合い、共に歩む」
京都部主題: DG 畑本 誠 (京都トウバー) 「行雲流水」～Be Y'smen～
メネット主題: RSD 西村寛子 (京都プリンス) 「私にできること… あなたにできること…」
心の声に耳を傾け メンとメネット 二人三脚で いきましょう！

ブリテン委員長に就任して

広報ブリテン委員長 安部 英彦



広報ブリテン委員長をさせて頂いて早いもので9ヶ月が経ち、残すは5月号、6月号の2号になりました。ようやく慣れてきた所なので「あと2号で終わるのかあ」なんて思う事もあり、寂しい様な、嬉しい様な…変な感じです。最近では例会や事業に参加している時ついついブリテンの記事になるなとか、就任前では考えられない

ような思考になっているのが自分でもわかるくらいブリテン委員会の楽しさを感じております。

今期で一番印象に残っているのが、委員長就任直後に例会等の撮影はコンパクトデジカメを使っていたのですが、手振れ補正をしていても写真のブレが酷いので、連写機能を使って沢山撮ればブレていない写真も沢山撮れるはずと考え、気が付けば

連写し過ぎで一回の例会で千二～三百枚撮ってしまい家に帰ってから要る物と要らない物に分ける作業に数時間かかり苦労した経験があったにもかかわらず、舞鶴での少年少女野球教室に参加した時、初めて一眼レフで撮影をして素人が上手く撮れるので調子によって写真を一杯撮ってしまい、またしても写真を分ける作業に数時間かかり学習能力の無さを痛感させられた事です。きっと暫くすればいい思い出になるはず…とポジティブにとらえておりますが—。

ただ、ブリテン委員長になってから毎月ほぼ同じ動きを繰り返し、ほっこりする間もなく次月号の記事に動き出すので、就任前のイメージよりも実際は地味にしんどい委員会だなというのが本音です。

しかし委員長をする前よりもメンバーとのふれあいが増え、何かとお話をする機会も多くなり、原稿依頼のお願いがしやすくなっているような気がします。

最後に、私が参加できない時や困った時に「やっておきますよ」と動いてくれるブリテン委員会のメンバーや、記事の依頼をしても快く引き受けて下さるキャピタルメンバーに助けて頂いて委員長をやってこれている事に感謝して、残りの期間を一生懸命活動していきたいと思っております。

聖句の解説 『不平を言わずにもてなし合いなさい』という聖書の進めは、神様から授かっている『賜物を生かして互いに仕えなさい』という勧めへと展開されています。『もてなしの心=ホスピタリティ』は、ホテルやレストランなどに代表される接客業の世界でも大切にされています。ホテルやレストランを訪ねてくるお客様を迎える基本的な心構えと態度、そして対応そのものとして語られています。それぞれ異なった期待や望みを持った一人一人への思いやりの心であり、相手の思いを素早く察知してそれに対して反応し、具体的に行動することです。まさに『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ13:15)』の実践です。

それぞれに異なる、神様から授かった賜物を生かしていくことが又仲間や友人たちの与えられた賜物、そして生命を尊いものとして受け止め、お互いをかけがえのない存在として仕えることを可能にし、それこそがもてなしの基本なのでしょう。昨今、家庭の中での幼児虐待や肉親への暴力などの事件がほぼ毎日のように報じられています。もっとも身近で基本となるべき家庭での関係が損なわれ、家庭そのものが崩壊しつつあるように感じられます。お客様という他者に対するもてなしの前に、もっとも身近な人同士が『もてなし合う』ことが、お互いの関係を正しいものへと導くというこの勧めを日常生活の中で実践したいものです。

西日本区
強調月間

4月 YMCAサービス ワイズは、YMCA スタッフ、ユースと手を取り合って、共に活動し、共に成長
ASF しましょう。 藤本義隆 Yサ・ユース事業主任 (阿蘇クラブ)

年間強調
目標PR

各クラブの活動をホームページ・Facebook 等で取り上げ、ワイズメンズクラブの活動をアピールしましょう。
加藤信一 広報・情報委員長 (京都トップスクラブ)

3
月
報
告



例会出席

在籍者数 41名
第一例会 34名
第二例会 32名
メイクアップ 5名
出席率 95.1%



BFポイント

切手 0g
現金累計 0円
E F 0円
J W F 0円
EF・JWF累計 0円



ニコニコ

第一例会 9,000円
第二例会 0円
累計 180,408円
東日本大震災復興募金
第一例会 3,667円
第二例会 0円
累計 41,889円



ファンド

2月追加分
大山ハム 13,072円
お祝いファンド 1,944円
累計 865,520円



献血

献 血 Occ
成 分 1名
累 計 1,200cc
成分累計 4名



125周年
募 金

第一例会 16,301円
第二例会 0円
累 計 385,528円

強い義務感を持とう 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

同業者として共感

広報ブリテン委員長 安部 英彦



赤松隆滋さん

「あなたが4人で旅行中に写真を撮ります。あなたは真ん中で写る？ 端で写る？ それとも撮る人？」というクイズ形式のユニークなテーブルの決め方で今日の例会はスタートです。

今例会には5月に行われる京都エイブルクラブ25周年記念例会のアピールに砂地一廣会長、上澤正廣さま、江面智明さまがお越しになりました。食事中に倉見ドライバー委員より「実は席決めの質問は心理テストでした！」と3つの席の結果発表！……当たってる?! 楽しい結果に盛り上がり、その雰囲気ゲストスピーカーのピースオブヘアー代表の赤松隆滋さま、アシスタントの十念和広さまをお迎えし「せっかちな世界にいない彼らから、僕が学んだこと」というテーマでご講演頂きました。

赤松さまは発達障害の子供達の髪の毛をカッコ良く、美しくしたい! という思いから、スマイルカットを作り、NPOを立ち上げ、ヒーローを作ったりと夢の為に一生懸命突き進んでおられるのが、すごく伝わってきました。同じく髪に携わっている者として共感するところが沢山あり、業界の講習を受けているような錯覚に陥った第1例会でした。

次期会長主査研修会に参加して

次期会長 幡南 進

3月7日(土)晴天のもと、新大阪の大阪コンファレンスセンターでの研修会に参加してきました。西日本区から次期の役員が集まり、初めての参加となる私は非常に緊張したスタートとなりました。先ず、「ワイズメンズクラブの未来」トゥーピークラブ岡本様よりお話を頂き、なるほどな〜と感銘を受けるばかりです。特に「会長の役割」については次期会長であることを実感し、自覚の思いが強まった一瞬です。

遠藤次期西日本区理事が方針を話され、その方向性を踏まえた事業方針を主任の方々から伺いました。未来を見据えたクラブ運営〜クラブライフを楽しむ。普段キャピタルクラブの一メンバーとして聞きなれた様な言葉でしたが、立場が替われば言葉の入り方もこれほど変わるのかと気付いた瞬間でした。

研修会に参加して、次期に対する引き締まる様な思いが膨らみ、会長と言う立場を与えて頂けたクラブのメンバーに感謝し、よし、やるぞー!! という元気の頂けた2日間でした。

皆様、次期は宜しくお願い致します。

京都部リトセンチャリティーゴルフ大会

地域奉仕・環境委員長 西川 欽一

3月1日(日)滋賀県のザ・カントリークラブにて毎年恒例の「リトセンチャリティーゴルフ大会」がウイングクラブのホストにより開催されました。

当日は、朝から全く止みそうもない雨、時折、差している傘を裏返してしまうほどの風、最高気温が10度を上回らないという寒いで、12クラブから総勢59名の参加で、我がキャピタルクラブからは西村Yサ委員長、幡南さんと私の3名が参加させていただきました。

降りしきる冷たい風雨に悩まされながらも、我々の組はキャ

CATT 例会に参加して

ドライバー委員 倉見 直樹



越前屋俵太さん

4クラブの会長の点鐘で和やかな雰囲気例会はスタートした。トップスクラブさんの入会式が執り行われた。キャピタルクラブのメンバーも含めた他クラブの皆さんからも祝福され、緊張されているように見えた。

ゲストスピーカーは越前屋俵太さん。自分が学生時代にTVに出ておられ「なんであんなにオモロイこと考え付くんやろ?」と憧れていた方です。俵太さんは過去のTV業界の話から現在の山での生活の話まで、ユーモアたっぷりに話をして頂きました。また、トップスクラブさん、エイブルクラブさんの記念例会のアピールもありました。今回合同例会に参加して、「血のつながり」があるはずなのに、あまり個人的に交流していないな、と感じました。折角4クラブも定期的集まっているのであれば何か新しいことができるのではないかと感じています。

ノピタルメンバー3人に、生駒から来たという若い女性のキャディさんとワイワイと午前の9ホールを楽しんで、「雨にも慣れてきたし、午後から本気だすぞ!」と思いながらクラブハウスに戻ると、「荒天のため中止」ということになり、我がキャピタルクラブメンバーは悔しい思い(?)をしながら胸をなでおろしました。

成績は、午前のハーフのみで集計され、幡南さんは「最後のパットが入ってれば……」と、惜しくも1打差で3位の近江牛を逃して8位、本気を出す前の西村さんもバンカーに泣かされて16位でしたが、成績が一番悪かった私が幸いにも飛び賞の25位賞(次期京都部長賞)をいただくことができました。

天候には恵まれませんでしたが、楽しくチャリティーゴルフに参加させていただき、今大会でもチャリティーで総額168,000円がYMCAリトリートセンターに贈られることになりました。

THE Y CUP 第2回京都ミニバスケットボール大会

Yサ・ユース委員 柳 慎司

3月14日(土)~15日(日)に大会が開催され、キャピタルクラブは昨年と同様に15日(日)の昼食担当なり、焼そば約170食分を提供させて頂きました。

今回は、前日土曜日に大山謙一さんと内田さんに野菜等の下拵えをして頂いたおかげで大変助かりました。

当日、キャピタルメンバーの参加者は少なかったのですが、焼き場担当に瀬本さん、幡南さん、金原さん、トッピング目玉焼きは五十嵐さん、パック詰めは西村委員長と柳メネット、配食は菅原会長と柳で作業を分担したことでスムーズに提供することが出来ました。山口雅也さんは大会実行委員として、二日間連続で参加されており、山田隆之さん、倉見さん、内田さん達は労いに駆けつけてくれました。

昼食を済ませた子どもたちが一列に整列し、昼食お礼「御馳走様でした……」の言葉に疲れも癒され、プチ奉仕出来た事に感無量でした。



あなたの未来に役立つキャピタルは？

人が育つクラブの継承

岡本 尚 男

京都キャピタルワイズメンズクラブに入会することは、一般社会では気付かない事や多分巡り会わなかったであろう人に出会い、良い影響を自分の人生に与えられるものでなかったら、入会されたのは誤りであったと言わざるをえません。

クラブは「人育ての社交場」と言われる所以です。一方、クラブを運営する時々の役員の方々はそれらの事を十分に配慮したクラブ運営が求められます。その経験が自分の仕事、住んでいる地域や関係する業界、YMCAなどで役立たせる事が、世の為人の為になる事と信じています。

私も1971年に京都パレスクラブに入会以来今日までに、入会した為に被った恩恵は計り知れません。関わったクラブやそこにおられた方たちが良き社会人であり、世の為人の為に働く人だったからだったと信じています。

このような事が実感できるクラブとして、世代を超えて新入会者が増え、ワイズスピリッツが継承されている京都キャピタルクラブの姿を見せてもらえることが、私の未来をより輝かせてくれる事でしょう。これからも共に歩みましょう。

自分が生まれかわれる場所

勝山 廣一郎

クラブの例会は多くのメンバーと出会い、委員会やいろいろなプログラムに参加をされ、親睦を重ねている内に、年齢差を越えた、異業種間交流を通じて知識、知恵、技が学べる場であり、クラブ内での役職を経験する事によって物事の広さ、深さ、捉え方が変わり新しい自分を発見するきっかけとなります。

世間ではよくリーダーとリーダーシップについて話題になっていますが、キャピタルワイズメンズクラブを通じて「気づき」を体験されています。それは誠実さや熱意、思いやり、冷静、厳格にして公正、仲間への愛情が深い人、思いやりを持っている人、「自分自身の考え方や行動」を正し、切磋琢磨しながら人間関係を保ちお互いの共通目標に向かっていける人、等々です。みなさまと共に歩んでいきたいと思えます。

私の体験です……

- ・他人から見られて知られているが、自分自身ではまだ知らない、自分だけが自分のことに気づいていない。
- ・自分の人生は振り返ってみると、己できめてきたように思っているが、意外と他人により方向づけられている事が多い。

メンバーとして 連絡主事として

神崎 清一

前任者から引き継ぐ形で、キャピタルワイズメンズクラブに初めて参加させていただいたのが丁度12年前。年長者の方、以前にワイズメンズクラブの大役を担われた方が、まだ入会して間もないメンバーと同じように例会前や例会後に奉仕されている姿を拝見しました。

ワイズメンズクラブとしては当然のことではあるのですが、1年ごとに役割・役職を変えながら、その時々責任を果たされることにあらためて敬服させられたことを憶えています。ともすれば、経験や年齢、仕事の役職などによって、その任意のグループの中での働きまで決まってしまうことが多い社会にあって、とても新鮮な経験でした。

YMCAでは「思いやり」「誠実さ」「尊敬心」「責任感」を大切にしていますが、これは青少年に限る者ではなく、私たち、所謂大人と呼ばれる集団にとっても求められるものです。

YMCAでは「すべてのプログラムを通して、このことを育むもの」としていますが、ワイズメンズクラブではこのことが実践され、青少年にとってはまさにロールモデルとして存在するのではないのでしょうか。

身が引き締まります。ワイズメンとして、総主事として、一人の社会人として。

今、生きている喜びを、未来へつなく

菅原 縦一

未来とは何か、考えて見ました。私は今、67歳。あと何10年もすれば、この世から消えていきます。しかし、私の命は、子から孫へさらにその先へ永遠につながっていきます。私の未来とは、今をしっかりと生きて、太古より受け継いだこの命を、次の世代へ、生き生きとつないでゆく事ではないかと思えます。

人は、生きていくうえで、時には辛いとき悲しいときもあります。このような辛い時にも、この先にはより良い明日があり、喜びがまっているんだよと、私の背中を押して来てくれたのがキャピタルです。クラブの仲間は、身勝手な私でも、やさしく受け入れ、励ましてくれました。自分と異なる意見にも、耳を傾ける気持ちを、教えていただきました。元気、明るさ、若々しさを、一杯いただきました。

今、ここに生きている喜びを、未来へつなげていく為、頑張っで行こうと思えます。

卒業リーダー祝会

会長・広報ブリテン委員 菅原 縦一

2014年度卒業リーダー祝会が、3月8日(日)午後2時から、京都YMCAで開催されました。今年も多く多くの学生ボランティアリーダーが、子供たちとの野外活動で得られた貴重な体験や、リーダーの仲間との友情を熱く語って、社会へ元気よく巣立って行きました。

参加者 石倉、香山・メネット、菅原

第5回入会祝賀会

広報ブリテン委員 亀井 久照

3月20日(金)に祇園円山公園内の「かがり火」にて第5回入会祝賀会がEMC委員会主催で開催されて、吉井さん、大山さん、安部さん、西村さん、五十嵐さん、私亀井が招待者としてお祝いをさせていただきました。

私は2010年6月に五十嵐さん・西村さんと入会し、間もなく丸5年になります。このような企画は自分が過ごした経験や時間を振り返り、考えるための良い機会だと感じました。

祝賀会で特に印象深かったのは、五十嵐さんのスピーチでした。メンバー全員に温かい言葉を贈って頂き、さすが五十嵐さんだと感じました。私にはとても真似の出来ない事だと思いました。そして次に印象深かったのが、私がファンド委員長だった時に配達がおくれて、賞味期限切れの「タンカン」になってしまった苦い思い出でした。その時のことが話題になり、クラブ史に残る悪い伝説を作ってしまったようです。あの時の教訓が今の私に生かされているかを改めて考えさせられました。

最後に、みんなでワイワイと楽しく、時にまじめに語り合う



祝賀会を企画して頂いて、会長及びEMC委員会の皆様に感謝いたします。

委員会紹介

メネット会

会長 菅原由利子

皆さんにとっても良くしていただき、とても感謝しております！あと数か月よろしく願いいたします！

委員 石倉 博子

メネットとみなさんと交流を深めたいです！

委員 山田とも子

あと半年楽しくやりたいです。



左から石倉・菅原・山田(と)メネット

神戸メネットクラブ 50周年感謝会に参加して

日時 3月14日(土) 場所 神戸外国人倶楽部

岡 本 都

神戸メネットクラブは1965年(昭和40年)3月10日に国際メネットクラブとして、日本で唯一認証されたクラブです。以後、今日までの50年のクラブ歴は神戸ワイズメンズクラブと共に活動され、継続されてきました。

当日は多くのクラブからの出席者があり、落ち着いた雰囲気の中での茶話会で50年を振り返ってのスライドも拝見しました。私も40年前に出席した関西合同メネット会の写真を見つけて懐かしく思いました。

その後、長尾ひろみさん(宝塚クラブメネット)による講演と元神戸クラブメネットのシャンソンをお聞きました。講演は「今後のメネットに期待するもの」と題して、今、日本の人口は1億2千7百万人、世界の人口は60億人ともいわれています。その中で4人に1人は高齢者、6人に1人は貧困と言われています。予測困難な時代ではありますが、周りを見て、何か出来ないかを考えて欲しいと締めくくられたのが、強く印象に残りました。

神戸メネットクラブの皆さんは、常に「私達に何が出来るだろう?」と、自問自答しながら親を失った子供達を支援する「神戸レインボウハウス」を、今も支援し続けていられています。その事で私が鮮明に印象に残っているのは、20年前の阪神淡路大震災の折のことです。震災の数日後、水道が止まり病院に運ばれて来る人達の消毒用・清拭用のタオルが必要との呼びかけがありました。病院の希望で30cm四方に切り揃えた使い捨てタオルを、京都部のメネットが用意し、緊急用車両の許可を頂いたトラックに満載して、運転ボランティアのお世話になりながら、早朝、橋本和子さんのお宅に届けました。病院へ案内され、血でヌルヌルになった廊下を、タオルを運んだことです。

私達に、今も、何か出来る事はあるはずで。考えて行動に移したいと思いました。

HAPPY BIRTHDAY

メン	石村 吉宏	4月6日	森 常夫	4月25日
メネット	幡南 陽子	4月9日	田中佳津子	4月11日
	山田まゆみ	4月17日	藤田 裕美	4月18日
コメット	山口 太樹	4月10日	田中 彩音	4月30日

HAPPY ANNIVERSARY

石村 吉宏・しのぶ	ご夫妻	4月3日
内廣 健・嘉子	ご夫妻	4月14日

第9回 役員会議事録

2015年3月24日(火) 19:00~21:00
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

〈西日本区・京都部報告〉 国際からのお知らせ/国際選挙結果 / YYY フォーラムの件

〈各事業委員会報告〉

- YMCAサービス・ユース事業委員会 京都部リトセンターゴルフ大会の報告 / The Y cup 第2回京都ミニバスケットボール大会の報告 / 夜桜フェスタ(4月19日)についての事業計画の検討 / Yサアワー例会(4月21日)について事業計画の検討 / 第11回京都YMCA 鴨川チャリティーラン(5月17日)について事業計画の検討 / 募金の現況報告
 - 地域奉仕・環境事業委員会 各種献金の報告 / チャリティーボウリング(2月22日)について報告(参加者:17名) / 東日本大震災復興募金 3月12日目標 1人あたり1,230円以上 / メタセコイヤフェスティバル(5月31日)について事業計画の検討 / プルタブ・エコキャップの収集状況報告 / 献血協力者の確認(3月成分献血:森繁樹)
 - ドライバー事業委員会 3月例会の報告ならびに4月例会内容を確認 / 4月花見例会(4月4日、聖護院御殿場荘) / 4月第2例会「Yサアワー例会」: YMCA サービス・ユース事業委員会による
 - 交流事業委員会 DBC 東京訪問について参加予定人数、スケジュール等の最終確認 / IBC: 釜山ベゼルクラブの件、台北アルファクラブの件(もう少し検討)
 - ファンド事業委員会 3月実施ファンドの報告(ホワイトデーファンド、お祝いファンド) / 4月実施ファンドの確認(母の日カーネーションファンド) / わらしべ長者ファンドの実施確認(4月は三役会)
 - 広報・ブリテン事業委員会 ブリテン3月号反省と4月号・5月号の骨子を確認。
 - EMC事業委員会 第5回入会祝賀会(3月20日)の報告(招待者8名) / 3月第二例会 ゲスト参加のフォローについて / 例会に3連続以上欠席されている2名のメンバーについて(各スポンサーに現状確認していただく旨の伝達をEMC委員長より行う)
 - メネット会 西日本区大会 メネットアワー(6月13日:土曜日) 講演:「希少難病研究の現状と展望」 東海大学医学部基礎医学系 生体防御学准教授 佐藤 健人 氏
- 〈その他〉 香山 AYC 委員長より、3月23日に行われたアジア地域大会ユースコンボケーション委員会報告があった。
第10回三役会 4月22日(水)19:00~ 於:未定
第10回役員会 4月28日(火)19:00~ 於:ウェスティン都ホテル京都 平安の間

編集後記

桜の便りが次々に聞かれるこの季節、皆様いかがお過ごしでしょうか? 私は先日の EMC 委員会主催の入会祝賀会でお祝いをして頂き入会してから年月を振り返っておりました。早いもので今号が今期第10号という事で、残りあと2号となりました。次期会長研修会も行われ、いよいよ次期に向けた準備も着々と進められている事と思いますが、今期の事業もまだまだ頑張ってお知らせしていきます!

お忙しい中、記事依頼でご協力頂いた方にブリテン委員会一同心より感謝しております。

広報・ブリテン委員長 安部 英彦

